

聴覚障害者用情報受信装置
「アイ・ドラゴン4」
に関するご説明

株式会社アステム

「目で聴くテレビ」と「アイ・ドラゴンの歴史」②

「自分たちの放送局を持ちたい！」

- ・全日本ろうあ連盟
- ・全日本難聴者・中途失聴者団体連合会
- ・株式会社アステム

1998年

CS障害者放送統一機構 設立

(現 認定NPO法人 障害者放送通信機構)

「目で聴くテレビ」の誕生



「目で聴くテレビ」と「アイ・ドラゴンの歴史」③

「目で聴くテレビ」を受信するために開発された 専用受信機「アイ・ドラゴン」

2002年

文化庁からリアルタイム字幕配信事業者の指定を受ける

2003年

「アイ・ドラゴン」が「聴覚障害者用情報受信装置」
として厚生労働省より日常生活用具に指定される



聴覚障害者用情報受信装置
「アイ・ドラゴン4」

「アイ・ドラゴン4」でできること①

テレビ放送の情報保障として 「リアルタイム手話・字幕放送」

地上波の画面

世論調査

米国での中国に対する印象の推移

年	好ましくない (%)	好ましい (%)
2005	45	35
10	45	35
15	55	25
20年	66	26

※ピュー・リサーチ・センターの調査

ここが1つポイントだと思いますが、今日の新聞にもそんなデータがありましたよね。

インターネット
により、「手話」
と「字幕」を送信

隔週火曜日
・NHK「列島ニュース」

毎週水曜日
・TBS「ひるおび」

毎週木曜日
・NHK「ニュースウォッチ9」

「アイ・ドラゴン4」により
地上波と手話・字幕を
合成できます

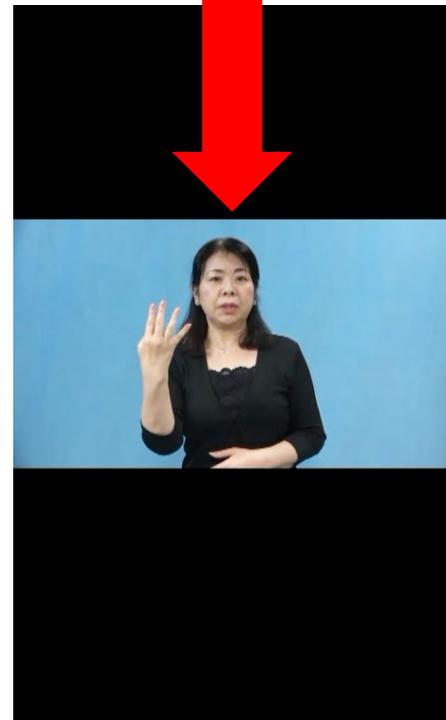


「アイ・ドラゴン4」でできること②

災害時避難所で聴覚障害者に対する情報保障

- ・新潟中越地震(2004年)
- ・能登半島地震(2007年)
- ・新潟県中越沖地震(2007年)
- ・東日本大震災(2011年)
- ・口永良部島噴火(2015年)
- ・熊本地震(2016年)
- ・北海道胆振東部地震(2018年)
- ・大阪府北部地震(2018年)
- ・平成30年7月豪雨(2018年)
- ・令和元年8月の前線による九州北部の記録的な大雨(2019年)
- ・新型コロナウイルス感染症
- ・令和3年福島県沖を震源とする地震
- ・令和6年能登半島地震

リアルタイム手話通訳



NHK災害放送の画面



さまざまなジャンルの番組アーカイブ

「手話番組アーカイブ」が2,000本以上視聴可能

新着	コロナウイルス関連	手話
全日本ろうあ連盟	全国手話通訳問題研究会	情報提供施設制作
防災	全国ろうあ者大会	手話語り(エッセイ)
映像作家	キッズ(子ども向け)	ろうあ運動
バラエティ	ドキュメンタリー	スポーツ健康
さかの映像祭応募作品	演劇	あいらんニュース
海外	行政	外国手話

デフリンピック



デフリンピック過去6大会が視聴可能。東京2025デフリンピックの機運醸成を！

ぼうさいのこころえ



防災に関する手話・知識など、防災学習として！

レッツサイン！国際手話



国際手話を面白おかしく学ぶことができます！

手話deアーカイブ



目で聴くテレビがこれまでに制作してきた番組を手話で楽しく解説します！

行政



内閣府 国土交通省 釧路市 石狩市 神奈川県 千葉県ほか自治体から手話映像の提供

月曜男の手話漫談



古今東西のあらゆる話を手話で楽しく語ります！

「アイ・ドラゴン4」設置例

災害時避難所等で聴覚障害者に対する情報保障

◆設置済施設一例(2024年6月現在約**250**箇所で設置されています)

青森県立青森聾学校、盛岡聴覚支援学校、

本宮市民元いきいき応援プラザ、草加市役所(小学校4ヶ所)、

東京手話通訳等派遣センター、荒川区立障害者福祉会館アクロス荒川、新宿区社会福祉協議会、
東京都障害者IT地域支援センター、社会福祉法人 東京聴覚障害者福祉事業協会「たましろの郷」
社会福祉法人聴力障害者情報文化センター、ソフトバンク株式会社

藤枝市福祉センター、石川県立中央病院、珠洲市役所、白山市役所、焼津市社会福祉協議会、

国際障害者交流センター(ビッグ・アイ大阪)向日市民体育館、和歌山市役所、和歌山市あいあいセンター

橋本市保健福祉センター、洲本市役所(庁舎4ヶ所) 明石市役所、いきいきプラザ斑鳩、平群町役場、

香芝市総合福祉センター、天理市障害者ふれあいセンター、三田市社会福祉協議会、

芦屋市保健福祉センター、伊丹市障害者福祉センター、東広島市(避難所12ヶ所)、

鳥取市障害者福祉センター徳島県立障がい者交流プラザ、オーテピア高知図書館、ほか

避難所に「アイ・ドラゴン4」を設置する意義

・手話言語条例 手話に対する理解の促進、手話の普及に寄与

2024年6月4日現在 38都道府県/21区/358市/113町/7村 計537自治体の自治体で成立
(全日本ろうあ連盟ホームページより抜粋)

・障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法

2022年5月成立

基本理念(第3条)「障害者でない者と同一情報を同一時点において取得できるようにする」

第12条「障害の種類・程度に応じた迅速・確実な情報取得のための体制の整備拡充、整備・機器の推進」

・合理的配慮の義務化

令和6年4月1日より国や自治体に加え民間事業者も合理的配慮を行うことが義務化

「アイ・ドラゴン4」設置に関する費用

施設・団体設置の場合

1. 本体

88,900円(非課税)

2. 受信料 (認定NPO法人障害者放送 通信機構からご請求)

年間 12,000円(税別)

個人の場合

1. 本体 日常生活用具として 申請した場合

8,890円(非課税)

2. 受信料 (認定NPO法人障害者放送 通信機構からご請求)

年間 6,000円(税別)

▼「アイ・ドラゴン4」ご利用にはインターネットが必要です

▼災害時の「リアルタイム手話放送」をご覧いただくには、地上デジタル放送の受信環境が必要です

▼「アイ・ドラゴン4」を設置するために設置業者に依頼した場合は別途費用が必要です
(ご自身での設置も十分可能です)

「アイ・ドラゴン4」の接続方法

「アイ・ドラゴン」をご利用にはインターネット環境とテレビ受信環境が必要です



インターネット接続は
有線LANまたはWi-Fi
(有線LANの方が安定します)



(付属品)

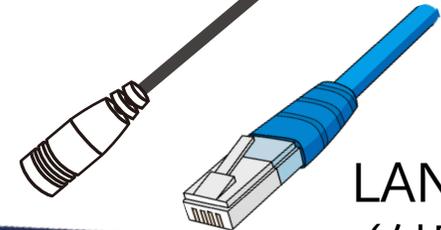
HDMI®ケーブルで

テレビなどのモニター機器と接続

テレビアンテナケーブル
(付属品)



Wi-Fi



LANケーブル
(付属品5m)

よくあるご質問

Q.ポケットWi-Fiは使えますか？

A. ご利用いただけますが、データ容量に上限があるご契約(7GB/月)の場合は、すぐに上限に達する可能性がありますので、無制限のご契約に切り替えることをお勧めいたします。